

朝日チャリティー色紙イラスト展

28日～2月12日 インターネットで展示・入札販売

一枚一枚に 支援の心

寄贈の60点 期間中は常時入札受け付け

- ◇28日(月)午前10時～2月12日(土)午後3時
- ◇全作品を朝日新聞厚生文化事業団ホームページ (<http://www.asahi-welfare.or.jp/>) で展示、入札販売します。期間中は入札を常時受け付けます
- ◇作品ごとに2万円以上(千円単位)の希望金額でお申し込みください。落札された方には、12日夕刻以降に連絡いたします。落札後はいかなる理由でもキャンセルできません
- ◇問い合わせ 事業団(050・3580・7858)



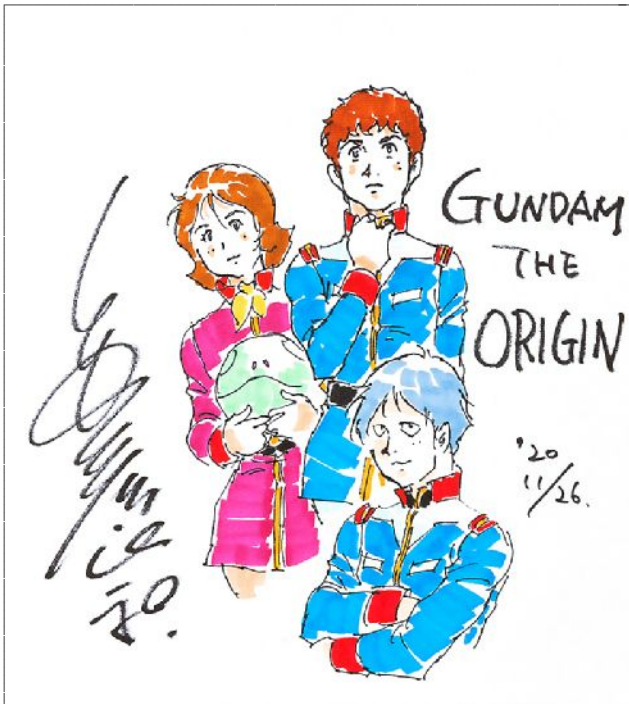
事業団HPはこちら

主催 朝日新聞厚生文化事業団、朝日新聞社

「朝日チャリティー色紙イラスト展」を28日から2月12日まで開きます。各界の著名人や漫画家の方々から寄贈された色紙やイラスト約60点を、インターネット上で展示し、入札販売します。ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

収益は朝日新聞厚生文化事業団が行っている社会福祉事業や、被災地支援に活用いたします。

なお、日本画、洋画、版画、書、工芸作品を展示販売する「朝日チャリティー美術展 東京展、大阪展」につきましても、今春以降の開催を予定しています。詳細が決まり次第、改めてお知らせいたします。



安彦良和「GUNDAM THE ORIGIN」



松本零士「夢見る夢」

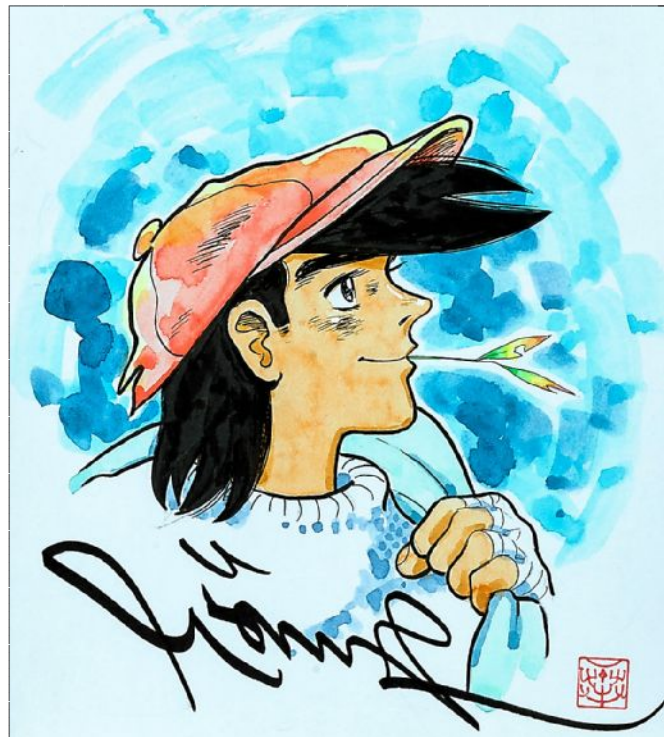
出品作家 伊藤秀男、上野道善、上村貞郎、宇野亞喜良、王貞治、香川元太郎、片山治之、かわぐちかいじ、北見けんいち、きむらゆういち、清原なつ、酒井駒子、佐藤邦雄、三遊亭円楽、千玄室、千宗室、千宗守、千宗旦、高田明浦、多川俊映、田島征三、ちばてつや、唐仁原教久、野村俊夫、萩尾望都、羽生善治、はまのゆか、ヒサクニヒコ、日野西光尊、弘兼憲史、マツモトヨージ、松本零士、三好貴子、村上康成、森清範、八代亜紀、安彦良和、山口哲司、山口マサル、吉田桂子、蓬田やすひろ



萩尾望都「ホフマンの海」



羽生善治「克己復礼」



ちばてつや「あしたのジョー」



佐藤邦雄「希望【負けるもんか】」



蓬田やすひろ「招福」



千宗旦「峯頂萬年松」



はまのゆか「まめちゃん」



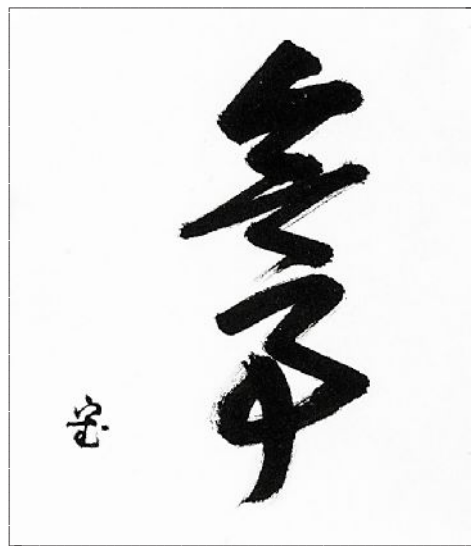
北見けんいち「釣りバカ日誌」



三遊亭円楽「座布団地蔵 無財七施」



山口マサル「雪景色」



千宗室「無事」



酒井駒子「Winter night」



かわぐちかいじ「空母いぶき GREAT GAME」



弘兼憲史「東京タワー 島耕作」



きむらゆういち「ぼくのおかみ」

朝日新聞厚生文化事業団の事業

朝日新聞厚生文化事業団は1928(昭和3)年1月設立。93周年を迎えた。昭和恐慌を背景に、食糧配布や無料診療など困窮状態にある人々への支援から始まり、幅広い福祉事業に取り組んでいる。

現在は、社会的養護＝☑️＝のもとにある若者が、将来のために不安なく学ぶことができる環境づくりに力を入れている。返済不要の奨学金を贈り、進学後は相談窓口などで学業継続をサポート。昨夏にはコロナ禍の支援として、施設などで育ち大学や専門学校などで学ぶ1412人に一律5万円を届ける緊急事業も実施した。

■主な事業

- ・児童養護施設・里親家庭等進学応援金 大学や専門学校への進学希望者へ、入学祝い金10万円と年間30万円の応援金を給付。LINE(ライン)相談窓口など施設や里親のもとを離れた後で孤立しないためのサポートもある。
- ・まなび応援金 自立援助ホームや子どもシェルターで暮らす若者へ、高校就学や資格取得のための

費用を給付。

- ・朝日のあたる家 東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県陸前高田市に、寄付で建てたコミュニティハウス。地域の人が気軽に集い、立ち寄ることができる。
- ・災害救援活動のための助成金
- ・認知症の人にやさしい街をめざす取り組み
- ・精神障害者の地域生活支援

☑️ 社会的養護

虐待や死別など、さまざまな事情から親と一緒に暮らせない子どもを、公的責任で社会的に養育・保護する仕組み。児童養護施設や乳児院などの施設養護、里親などの家庭養護がある。対象は全国で約4万5千人。